学校番号	302

平成 31 年度　体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	ステップアップ高校スポーツ　（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・いろいろなスポーツを経験する中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・水泳、持久走など克服的な種目を経験することにより、自己と向き合いながら情緒面、知的な発達を促そう。
・グループ学習を通じて、仲間と協力しあい運動の楽しさや喜びを深く味わおう。また、筋道を立てて練習や作戦を考え改善の方法などを互いに話し合うなど､コミュニケーション能力の向上に努めよう。

2　学習の到達目標

・それぞれの運動について、理解して実践ができるようにする。
・水泳や持久走などの種目を通じて、心身の両面について向き合いながら、最後まで取り組む態度を身につける。
・生涯にわたり運動をする習慣を身につけ、心身両面に渡って健康に生きていけるような知識と態度を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b :思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ､自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し､技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり､体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方､課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 レポート 等	レポート 体育理論のテスト 等	技能観察 レポート 等	レポート 体育理論のテスト 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	球技〈ゴール型〉	○バスケットボール 〈ゴール型・シュート型〉 ボール慣れ ドリブル・パス・シュート 対人練習(3体3など) テスト(シュート) ○アルティメット 〈ゴール型・陣取り型〉 いろいろな投げ方 高さに応じた受け方 移動しながらのパス テスト(シュート)	○	○	○	○	a:健康・安全を確保し、球技の学習に主体的に取り組もうとしている。 b:球技を継続して楽しむために自己に適した関わり方を見つけている。 c:ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール（ディスク）操作と空間を作りだすことができる。 d:技術の名称や行い方と競技会の仕方について学習した具体例を挙げることができる。	受講態度の観察 技能観察
	球技〈ネット型〉	テニス ボール慣れ ストローク サーブ ラリー テスト	○	○	○	○	a: 球技の学習に主体的に取り組もうとし、フェアなプレイを大切にしようとしている。 b: 提供された作戦や戦術から自己のチームや相手のチームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。 c:空いた場所をめぐる工房を展開するための役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きができる。 d: 技術の名称や行い方、試合の行い方、運動観察の方法について理解したことを言ったり書き出したりしている。	受講態度の観察 技能観察
	水泳	平泳ぎ 水慣れ 平泳ぎ 泳力に応じた距離を泳ぐ テスト (25～75Mのタイム測定)	○	○	○	○	a:水泳の学習に主体的に取り組もうとし、互いに助け合い高め合おうとし、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全を確保している。 b: 課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の課題を見直し、練習や記録会の場面で、危険を回避するための活動の仕方を選んでいる。 c: 手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだりすることができる。 d: 技術の名称や行い方、課題解決の方法についてなど学習した具体例を、言ったり書き出したりしている。	受講態度の観察 技能観察

	球技〈ネット型〉	バレーボール	○	○	○	○	a: 球技の学習に主体的に取り組もうとし、役割を積極的に引き受け、合意形成に貢献しようとし、フェアなプレイを大切にしようとしている。 b: これまでの学習を踏まえ、チームの仲間の技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘し、作戦などの話し合いの場面で合意を形成するための調整の仕方をみつけている。 c: 空間を作り出すなどの攻防を展開するための状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きができる。 d: 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できる。	受講態度の観察 技能観察
後期	球技選択	＜球技2種目＞ 1種目必修 1種目選択	○	○	○	○	a: 球技の学習に主体的に取り組み、グループの中で役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしている。 b: これまでの学習を踏まえて、チームが目指す目標に応じたチームや自己の課題を設定し、仲間の有効な練習方法を設定している。 c: ゴール型では、空間への侵入などから攻防を展開するための状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きができる。 c: ネット型では、空間を作りだすなどの攻防を展開するための状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きができる。 d: 課題解決の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。	受講態度の観察 技能観察 ノート レポート

	陸上競技	長距離走	○	○	○	○	a:陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。 b:これまでの学習を踏まえて、自己や仲間の挑戦する課題を設定している。 c:ペースの変化に対応するなどして走ることができる。 d:課題解決の方法について理解したことを言ったり書き出したりしている。	受講態度の観察 技能観察 ノート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。